



かしくん!

『星に重ねて』

脚本：アストン=路端
画像：コミポ!

www.comipo.com

短冊の書き方（三つ折り半字がかり）

一文字目は
4分の1の折り目に半分掛ける

あい
う え お か き く け こ さ し す せ そ た ち っ て
と な に ぬ ね の ま み む め も や ゆ よ わ き ん

題は紙面の
上の4分の1

歌を題より先に書く
行頭に漢字を並べない

署名（落款）は
1行目の末字より
やや下げる





The image features two anime-style characters, a girl on the left and a boy on the right, both wearing school uniforms. They are standing behind large, stylized Japanese text. The text is arranged in two rows. The top row contains the characters 'か' (yellow), 'し' (green), and 'く' (red). The bottom row contains 'ん' (purple) and '!' (red). The characters have thick black outlines and are set against a background of a blue gradient with white stars.

『星に重ねて』

脚本：アストン＝路端
画像：コミポ！

www.comipo.com



日中は

気持ち良く晴れて

暑くはあるものの

空気は清々しい

そんな時間が過ぎれば

程好い涼が訪れる



夜と呼ぶには
まだ早いけれど

朱色に染まった風景は

どこか幻想めいて

見慣れた筈の場所でさえ
まるで別の世界のような

ガ
ウ



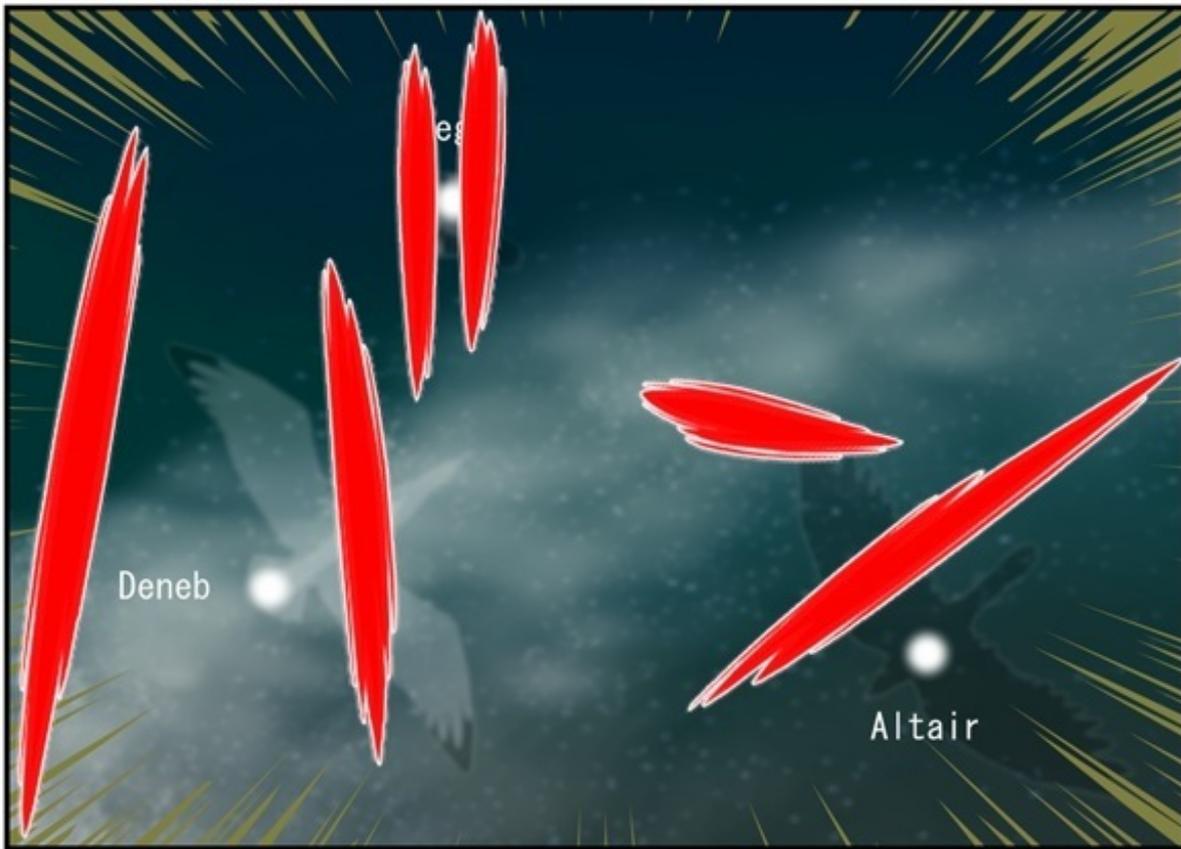
夜風を待つ間の
少しばかり長い夕刻

深みを増す夕暮れには

やはりどこか

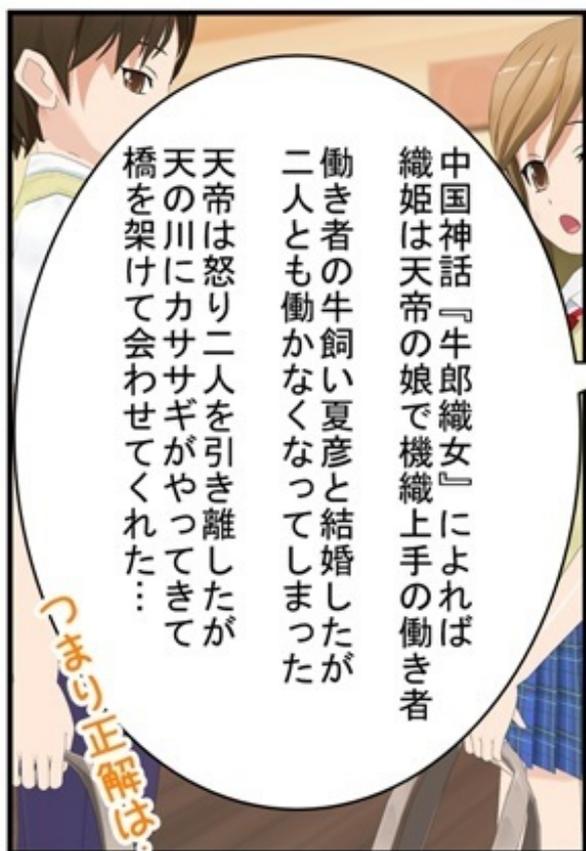
不思議な魅力がある





夏の三角形(夏の大三角形)





中国神話『牛郎織女』によれば
織姫は天帝の娘で機織上手の働き者
働き者の牛飼い夏彦と結婚したが
二人とも働かなくなってしまうた
天帝は怒り二人を引き離したが
天の川にカササギがやってきて
橋を架けて会わせてくれた…

つまり正解は…



婿養子は辛いけど
きつと誰かが
助けてくれる

あーっ

グッ

と言うことね

何の話？

七夕とは

七夕（たなばた、しちせき）は、中国、台湾、日本、韓国、ベトナムなどにおける節供、節日の一つ。

五節句の一つにも数えられる。

旧暦では七月七日の夜のことで、日本ではお盆（旧暦七月十五日前後）との関連がある年中行事であったが、明治改暦以降、お盆が新暦月遅れの八月十五日前後を主に行われるようになったため関連性が薄れた。

日本の七夕祭りは、新暦七月七日や月遅れの八月七日、あるいはそれらの前後の時期に開催されている。

古くは、「七夕」を

「棚機（たなばた）」や

「棚幡」と表記した。

これは、そもそも七夕とはお盆行事の一環でもあり、精霊棚とその幡を安置するのが七日の夕方であることから

七日の夕で「七夕」と書いて

「たなばた」と発音する

ようになったともいう。

そのほか、

牽牛織女の二星がそれぞれ

耕作および蚕織をつかさどるため、

それらにちなんだ種物（たなつもの）機物（はたつもの）という語が

「たなばた」の由来とする

江戸期の文献もある。



とか考えてるんだろな...

たなつもの
⇒ dan astum ol na !
：一族の頑強な絆を祈れ！

はたつもの
⇒ hut astum ol na !
：祈り叫べ！頑強な絆

たなばた
⇒ dan atsum hut atsum!
：一族頑強、叫べ頑強！

※第2話参照（ヘブライ語）



ん...

かつては技芸の上達を祈ったそうだから
決意でも良いかもね



さて...

願う事は
決まったかい？

全国的には
短冊に願い事を書き葉竹に飾ることが
一般的に行われている。

短冊などを笹に飾る風習は

夏越の大祓に設置される

茅の輪の両脇の笹竹に因んで

江戸時代から始まったもので

日本以外では見られない。

「たなばたさま」の楽曲にある

五色の短冊の五色は

五行説にあてはめた五色で

緑・紅・黄・白・黒をいう。

中国では五色の短冊ではなく

五色の糸をつるす。

なお乞巧奠

(陰暦七月七日の夜に牽牛・織女星を祭る
行事。『巧みを乞う祀り』であり

手芸(手仕事)などの上達を祈った)は

技芸の上達を祈る祭であるために

短冊に書いてご利益のある願い事は

芸事であるとされる。

また

お盆や施餓鬼法要で用いる

佛教の五色の施餓鬼幡からも

短冊は影響を強く受けている。



世界平和

博愛精神

交通安全

無病息災

家内安全

一病息災

日進月歩

温故

文武両道



吹き始めた夜風の向こう

澄み切った空は

どこまでも高かった

瞬く星の数ほど

届けられた願いを思っ

優しい光の中で

いつまでも見上げていた

かい
けん!!



『星に重ねて』完

カルけん！！（２２）

<http://p.booklog.jp/book/99014>

著者：アストン＝路端

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/robounoishi2009/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/99014>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/99014>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ